

周囲に気付かれぬまま、死後しばらくして見つかる孤立死が後を絶たない。各地で対策が始まる中、先駆的に取り組んでいるのが北九州市の「いのちをつなぐネットワーク事業」だ。ねた。

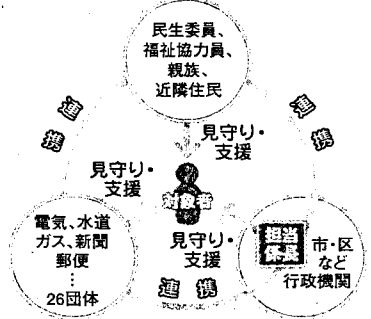
命を見守る



先駆け北九州市の4年

始めたのは三年前。水道局からの情報で、水道料金の滞納を把握したことがきっかけだった。男性は年金収入があまりながら生活苦に陥っていた。理由をなかなか明かしてくれず、ヤミ金融に手を出していたことを加治さんに打ち明けたのは今年に入ってから。粘り強い接触が、住民を巻き出した。すぐに弁護士や警察に取り次ぎ、親類の援助にも道を付け

いのちをつなぐネットワーク事業のイメージ



北九州市 20%。高齢者がいる16万世帯のうち、独居が5万2000人口97万7000世帯(32%)、高齢夫婦42万世帯。高齢化率は世帯は4万世帯(25%)に政令指定都市で最高の25%を超える。



「郵便物がたまっていない」「顔を最近見かけない」などの異変を察知する。まず、市内全七区に計十六人の担当係長に知らせる。担当係長は現場に足を運び、生活保護や介護などが必要な場合、市の関係部署と連絡を取り解決を図る。同時に、近所の住民や民生委員らに声を掛けて「見守り隊」を編成。訪問や差し入れのほか、家に電気がついていないかなど、さりげない観察を続けてもらう。一〇年度は年間六百七十件の異変情報が寄せられ、命をつなぐ成果を挙げている。「私たちは住民や行政の間の接点。SOSのサインを漏らさぬように、事業には、市内の民生委員千五百人、社会に加え、電気やガスなどの検針員、郵便や新聞の配達員ら民間の二

独居でない人、支援拒む人課題

再発防止で掲げたの。五年目を迎えたネットワーク事業だが、見守りの課題も浮かび上がっている。まず、一人暮らしでやさい世帯への目配りだ。事業開始七月後の〇八年十一月、北九州市内の高齢夫婦が孤立死した。一独居ではない点が周囲の油断に「おにぎり食べた」「おにぎり食べた」と書き残して孤立死した事例は、全国「ニューつながった」と反響材ち、半数近い三百五件

異変察知 地域ぐるみで再発防

広報紙配布で安否

首都圏でも地域の目による孤立死防止策が動きだしている。埼玉県草加市の都市再生機構(UR)「草加松原団地」。今月から、団地住民が組織した「見守りネットワーク」が市広報紙の配布を通じて、住

松戸では 町会と診療所が連携

所と連携して安否確認する「あしひだ電話」を導入。登録した高齢者に診療所から音声で自動発信され、体調を回答する。応答がない日が続けばボランティアが確認に動く。自治体も対策に本腰を入れる。アパートで三月に高齢の母親が死亡していたのが見つかった東京都立川市。六十五歳以上で介護

立川では 高齢者の生活を調査

保険の要介護認定を受けながら、サービスを利用しない千三十四人を対象に、「日常生活の状況調査」を実施している。死亡した母親が認定を受けてながらサービスを利用せず、行政や介護事業者との接点が無かった」と、初め実施。既に約七百八十人から回答があり、支援が必要なケースは連絡を取っている。



サツちゃん モンク捕まえたの得意なんだよ

姉ちゃん サツちゃん 嫁にしよう

獲物です

何?!

法政大学 エクステンション・カレッジ 2012 資格・語学・文化教育講座 開講: 東日本大学 決まりたい講座 資料のご請求は ☎03-3264-6098

17歳無免許 運転で逮捕 札幌警署に引き渡され、職務質問を受けた警察官を車で約四百メートル走り、軽トラックを運転して逃走したと供述。同署は車を二十四日、札幌北署と道交法違反(無免許)と道交法違反(信号無視)で逮捕容疑は二十一日

以前、 京都府岡岡市で集団登校中の児童らの列に軽乗用車が入り込み、十人が死傷した事故で、車に同乗し、道交法違反(無免許運転)の助容疑で逮捕、送検された大学一年生(心)と専門学生(心)